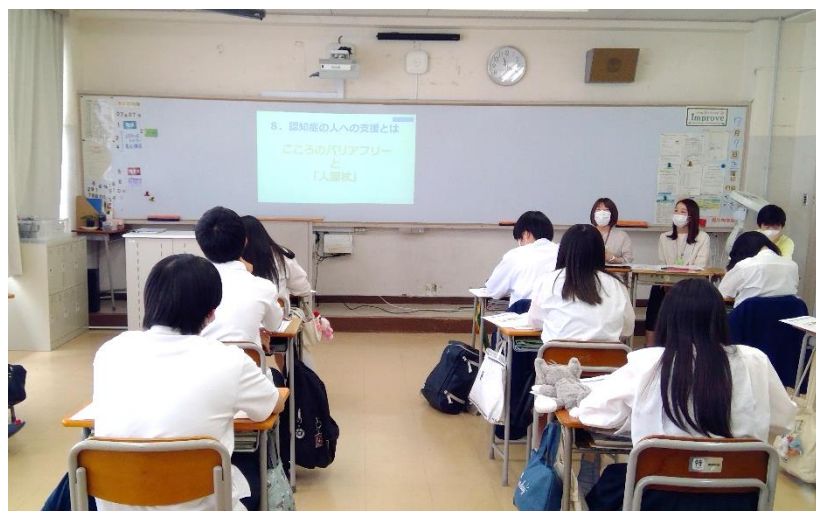


令和5年7月7日（金）実施 3年次生福祉類型 「認知症サポーター養成講座」を受講しました

山県市生涯学習まちづくり出前講座「認知症サポーター養成講座」を受講しました。山県市の高齢化の現状と将来、認知症の症状や認知症の人の気持ち、認知症の人への接し方について教えていただきました。山県市の高齢化率は2023年3月で37%（3人に1人）と全国平均と比較しても大変高いことに驚きました。それと同時に認知症の高齢者の方も今後増えることが予想されるので、身近なこととして考え、地域の多くの人々が認知症の理解を深めることが大切だと痛感しました。



<感想>

- ・認知症は本人に自覚がないということは大きな間違いで、最初に気づくのは本人であることが多く、一番心配なものも苦しいのも本人だということを知りました。
- ・認知症の方に話しかける時には前に回って、優しい口調でゆっくり声をかけて、困っているときには手伝ってあげるなど気遣いが大切だと思いました。
- ・不適切な環境や対応をすることによって認知症の人の体調不良が見られたり、やる気をなくしてしまったりすることが分かったので、本人に合った環境づくりを心がけたいと思いました。